

つな 繋がり大切に、燕で新たな一歩

3月末をもって、燕市地域おこし協力隊の3年間の任期を終えた井口さん。東京出身の井口さんが燕市を選んだ理由や、これから燕市で新スタートを切るにあたり意気込みを伺いました。

「前職を辞め、何か面白いことにチャレンジしたいと考えていた時、地域おこし協力隊の存在を知りました。祖父や恩師の出身地である新潟県で働きたいと候補を絞る中で、『SNSの発信業務』という活動内容に興味を抱き、燕市の隊員として着任しました」

3年間にわたり市の観光情報の発信に携わった井口さん。中でも印象深い業務を振り返ります。

「背脂ラーメンマップを製作したことは今でも良い思い出です。市内ラーメン店を巡り、年間で100杯を超えるラーメンを食べました(笑)。市内を巡る中で、移住して間もない私に、皆さんが温かく声をかけてくれたことをよく覚えています。人との繋がりが広がるにつれ、今後も燕市に住



井口 大史さん(井土巻2丁目)

●元地域おこし協力隊(令和7年3月まで)

み続けたいと考えるようになりました」

4月以降、市内ビルの空き倉庫を改修し、念願だったフィットネスジムを開業します。

「店舗の改装も、燕市で出会った皆さんが協力してくれました。人との繋がりの大切さを身に染みて感じているからこそ、開店するジムでは、対面の安心感や交流を重視し、これまでの経験と知識を多くの皆さんに還元していきたいと思っています」

これから新たなスタートを切る井口さん。今後の思いを伺いました。

「色んなことに前向きに動き回りたいです。今後も地域の一員として、地元の皆様と一緒に燕市を盛り上げていきたいです」



◀今月プレオープンを迎えるフィットネスジム「イグジム」。いつでもトレーナーがいる安心感を感じながら体を動かすことのできる施設です。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



春は別れと出会いの季節。燕市役所では3月31日付で25名が退職しました。

これまで市政発展のためにご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

一方、4月1日からは36名の新採用職員を迎え、新体制がスタート。今回の人事異動では、課長補佐以上の管理職に占める女性の割合が過去最高の40・7%となりました。

合併後最大規模となる令和7年度当初予算も成立しました。3つの人口戦略を深化・進化・真価させながら、日本一輝いているまち燕市の実現に向けて、未来への期待がふくらむまちづくりを進めてまいります。

＼小さなスペースに無限の可能性！／ 広報つばめ・燕市ホームページ 「有料広告」を募集中



4枠掲載するとお得に！

広告枠の空き状況はこちらからご確認ください▶



■申込・問合せ 広報秘書課 広報広聴係 ☎0256-77-8363

10人乗りハイエース レンタカーございます！

1時間	2,750円
6時間	7,150円
12時間	11,000円
1日	16,500円



家族・グループでのお出掛けに
ビジネスで急に必要になった
(社用車代わりにも...)

有限会社 中野自動車商会 燕市炭ヶ島 1259-1 tel.0120-559-154

▶こちらは有料広告です。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。